

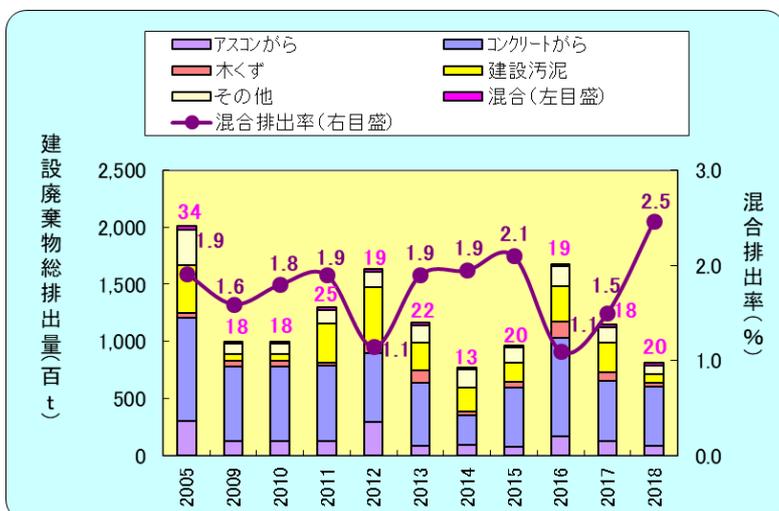
建設廃棄物の発生抑制及びリサイクル推進への取組み

当社では、建設リサイクル推進計画2014(国土交通省)に対応し、

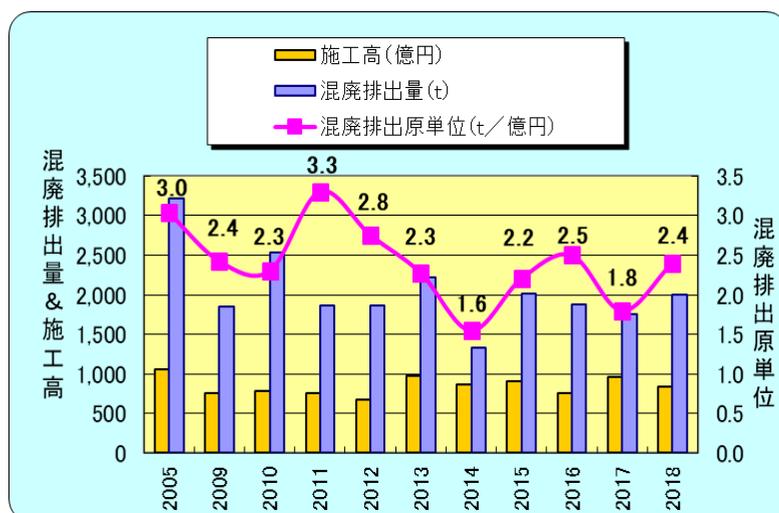
建設リサイクル推進活動【発生抑制、リサイクル推進、適正処理】

を通じて、環境負荷の低減や建設副産物の有効利用に取り組んでいます。

① 《建設廃棄物 混合排出率 推移》



② 《混合廃棄物 排出原単位推移》



③ 《建設廃棄物 総排出原単位 推移》



1) 発生抑制への取組み状況

初めに、国土交通省が掲げる「建設リサイクル推進計画2014」では、建設副産物の工事現場の分別や再資源化、そして再生資源利用の促進が計られています。そのなかで、混合廃棄物の【排出率】は2018年度目標値**3.5%**以下を設定しています。

当社の実績では、(グラフ①)2018年度総排出量(812百t)に対して、混合廃棄物(20百t)の排出割合は**2.5%**と例年より少し高い水準となりましたが、国土交通省の目標である**3.5%**以下を維持しています。

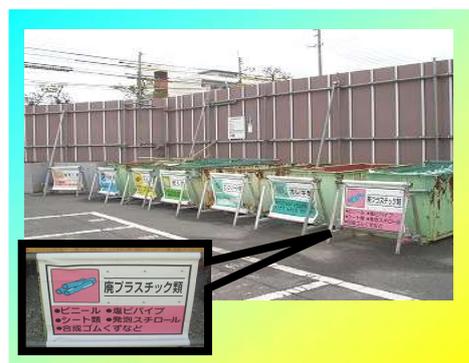
また、建設混合廃棄物の当社基準年度2005年度(34百t)比では、**41%**の削減で推進しています。

次に、(グラフ②)2018年度の混合廃棄物排出原単位は**2.4 t/億円**となり、**平年並みの水準**となりました。

今後も、産業廃棄物の分別管理を行い混合廃棄物の排出削減に努めます。

最後に、(グラフ③)2018年度の建設廃棄物総排出原単位は**97 t/億円**となり、**平年より少なく良好な水準**となりました。

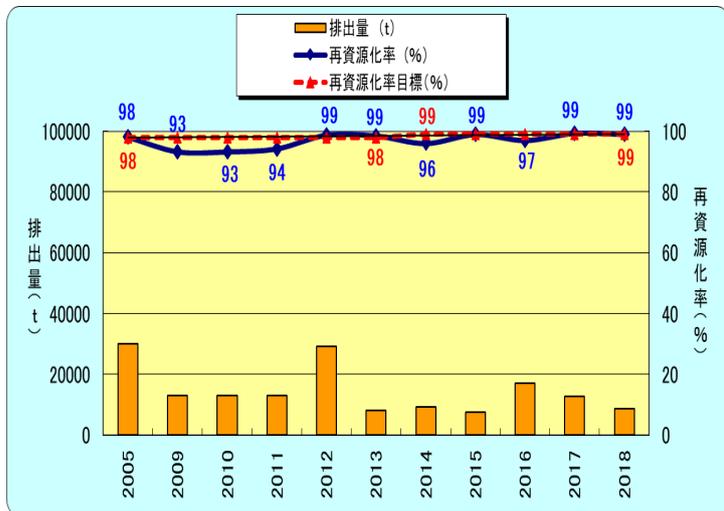
今後も、建設混合廃棄物の発生量抑制を基本ベースとして環境活動に取り組んでまいります。



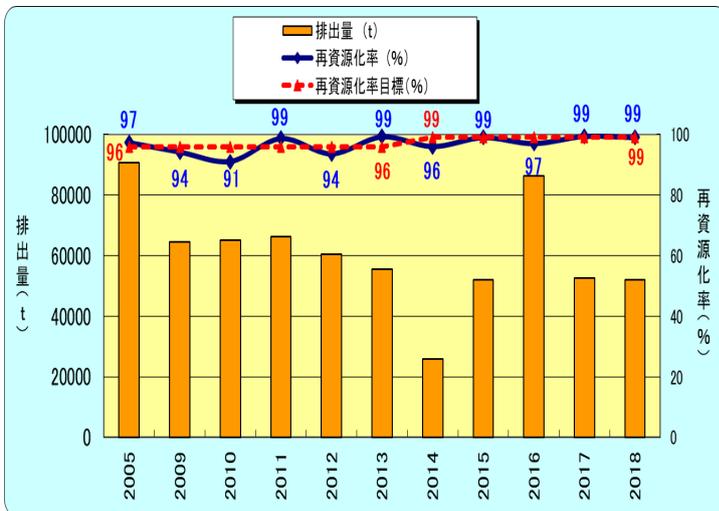
2)リサイクル促進への取り組み

「建設リサイクル推進計画2014」(国土交通省)では、主な建設廃棄物について、【再資源化／縮減率】の2018年度目標値を設定しています。(赤破線、赤数字で示す)

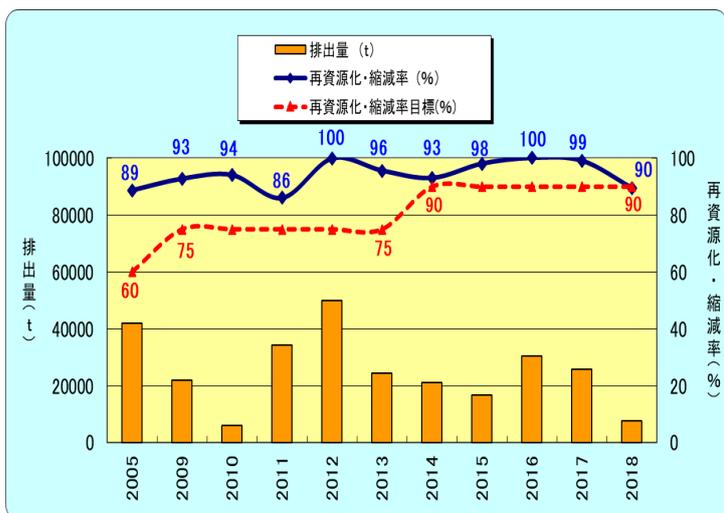
④ 《アスファルトコンクリート 排出量 再資源化率推移》



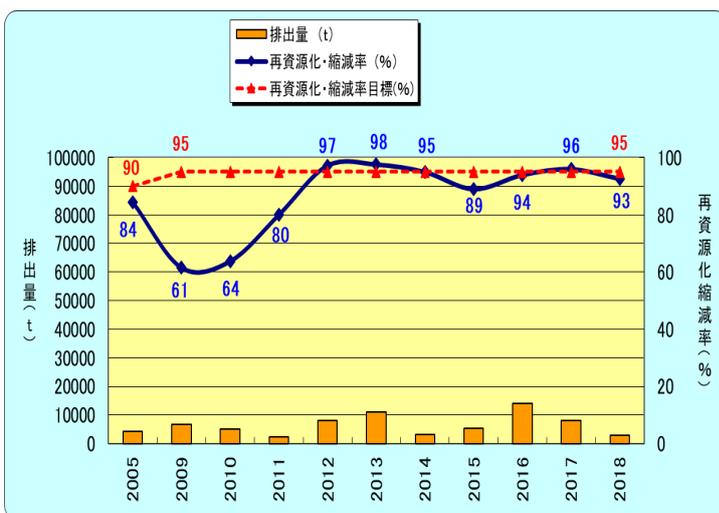
⑤ 《コンクリート 排出量 再資源化率推移》



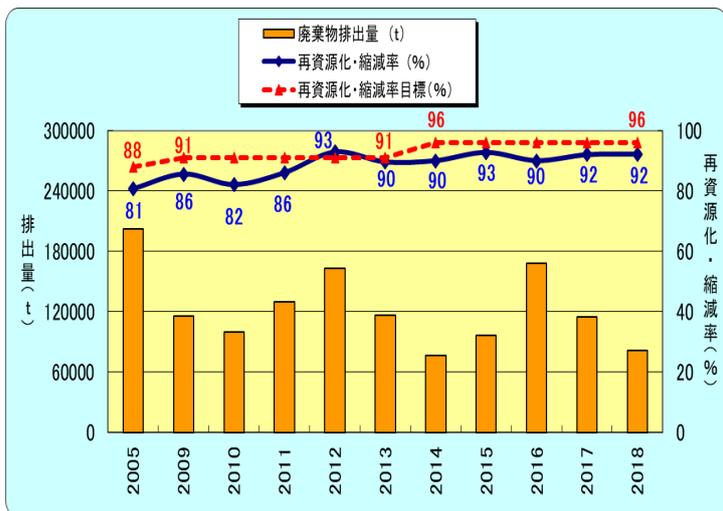
⑥ 《建設汚泥 排出量 再資源化・縮減率推移》



⑦ 《建設発生木材 排出量 再資源化・縮減率推移》



⑧ 《建設廃棄物 全排出量 再資源化・縮減率推移》

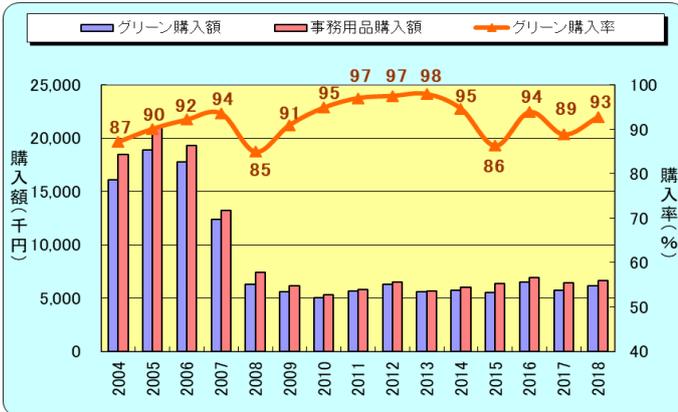


当社において2018年度は、アスファルトコンクリート(グラフ④)、コンクリート塊(グラフ⑤)、建設汚泥(グラフ⑥)、は目標達成となり、建設発生木材(再資源化・縮減率)(グラフ⑦)、建設廃棄物全排出量(再資源化・縮減率)(グラフ⑧)は若干の未達となりましたが、目標値に近い数値で推移しています。

今後も環境保全に配慮した対策・工法を考え、リサイクル活動を続けていきます。そして、未来の社会が継続的に発展するように貢献してまいります。

オフィス部門の取組み

⑩ 《オフィス部門 事務用品 グリーン購入率推移》



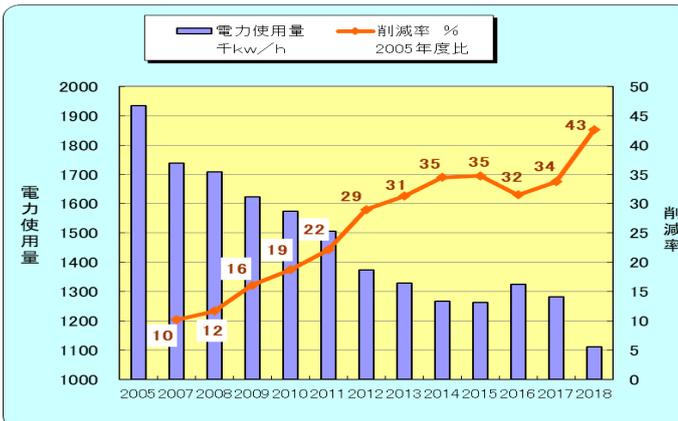
注) 対象品目：文具類、プリンター、名刺台紙、OA用紙 (2004年度～2007年度)
 : 文具類、プリンター、名刺台紙 (2008年度～2018年度)
 なお、2015年度は最新機種を導入したプリンターの環境対応品トナーが発売されていなかったため、低い購入率となった

3) グリーン購入推進への取組み

オフィス部門では、事務用品(グラフ⑩)のグリーン購入を推進し、グリーン物品の使用に努めています。

事務用品の調達では、物品を購入するときに、必要性を十分考えて購入するように心掛け、価格、機能、品質だけでなく、環境への視点を重視し、環境への負荷が出来るだけ少ないものを選んで優先的に購入しています。

⑪ 《オフィス部門 電力使用率推移》



2016年度は本社が移転し、新社屋の建物が大きくなったため増加。
 また、2016、2017年度は本店社屋改修工事に伴い、電力量が増加したため。

4) 地球温暖化防止への取組み

環境目標以外に、本店と支店において、電力使用(グラフ⑪)の低減活動を推進し、地球温暖化に繋がる二酸化炭素(CO2)排出の削減に努めています。

2005年度実績比では約 **43%** の節電となりました。これは「杉の木」のCO2吸収量に換算すると約 **21,200本分** に相当します。

また、CO2削減重量では **297 t** (ダンプトラック10t車30台分に相当)、CO2削減容量では

150000m3 (プール **333個分** に相当) になります。(※プール: 25m×15m×1.2m)

今後も、環境へ配慮した活動に取り組んでまいります。

